

長岡市景況調査票（サービス業）

令和7年7～9月期

貴事業所名	従業員数 ① 0人～5人 ② 6人～10人 ③ 11人～20人 ④ 21人～30人 ⑤ 31人～50人 ⑥ 51人以上
担当者名	
メールアドレス	
加盟商工会・商工会議所（複数選択可） ①長岡商工会議所 ②長岡北（与板） ③長岡北（和島） ④長岡南（関原） ⑤長岡南（二和） ⑥長岡南（越路） ⑦長岡南（山古志） ⑧長岡南（川口） ⑨長岡南（小国） ⑩中之島 ⑪三島 ⑫寺泊 ⑬栃尾 ⑭無所属	
業種区分（貴事業所の主要業種の番号に、1つ○印をご記入願います） 4. サービス業 ①運輸 ②情報・通信サービス ③飲食店 ④旅館・ホテル ⑤不動産 ⑥自動車整備 ⑦娯楽 ⑧医療 ⑨リネン・クリーニング ⑩美容 ⑪その他 _____	
主要取扱品目をご記入願います →	

● 景気動向に関する調査

問 1. 令和7年7～9月期の貴事業所の状況は、前年同期および前期と比較していかがでしたか。
該当する番号 1 つに○印を付けてください。（貴事業所の業種に該当する設問のみの回答で結構です）

令和7年7～9月期の状況

	①前年同期と比べて （令和6年7～9月）	②前期と比べて （令和7年4～6月）	左記①で前年同期と比べて業況が「良い」または「悪い」としたのはなぜですか。（複数回答可）
a. 業況（自社）	1.良い 2.不変 3.悪い		
b. 売上高	1.増加 2.不変 3.減少		
c. 採算（経常利益）	1.良い 2.不変 3.悪い		
d. 売上単価	1.上昇 2.不変 3.低下		
e. 売上数量	1.増加 2.不変 3.減少		
f. 仕入単価	1.上昇 2.不変 3.低下		
g. 仕入数量	1.増加 2.不変 3.減少		
h. 資金繰り	1.良い 2.不変 3.悪い		
i. 借入金利	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	
j. 従業員（含臨時・パート）	1.増加 2.不変 3.減少		
k. 外部人材（請負・派遣）	1.増加 2.不変 3.減少		

「良い」の理由	「悪い」の理由
1.需要動向の好転	1.需要動向の悪化
2.販路の拡大	2.販路の縮小
3.資金繰りの好転	3.資金繰りの悪化
4.売上単価の上昇	4.売上単価の低下
5.原材料・仕入単価の低下	5.原材料・仕入単価の上昇
6.経費削減の進展	6.経費負担の増加
7.為替の好影響	7.為替の悪影響
8.新分野への進展	8.その他（ ）
9.新製品の開発・取扱い	
10.その他（ ）	

上記で選択した項目について具体的な内容をご記入ください。

問 2. 令和7年10～12月期の貴事業所の見通しは、前年同期および直前期と比較していかがですか。
該当する番号 1 つに○印を付けてください。（貴事業所の業種に該当する設問のみの回答で結構です）

令和7年10～12月期の見通し

	①前年同期と比べて （令和6年10～12月）	②前期と比べて （令和7年7～9月）	左記①で前年同期と比べて業況が「良い」または「悪い」と見通したのはなぜですか。（複数回答可）
a. 業況（自社）	1.良い 2.不変 3.悪い		
b. 売上高	1.増加 2.不変 3.減少		
c. 採算（経常利益）	1.良い 2.不変 3.悪い		
d. 売上単価	1.上昇 2.不変 3.低下		
e. 売上数量	1.増加 2.不変 3.減少		
f. 仕入単価	1.上昇 2.不変 3.低下		
g. 仕入数量	1.増加 2.不変 3.減少		
h. 資金繰り	1.良い 2.不変 3.悪い		
i. 借入金利	1.上昇 2.不変 3.低下	1.上昇 2.不変 3.低下	
j. 従業員（含臨時・パート）	1.増加 2.不変 3.減少		
k. 外部人材（請負・派遣）	1.増加 2.不変 3.減少		

「良い」の理由	「悪い」の理由
1.需要動向の好転	1.需要動向の悪化
2.販路の拡大	2.販路の縮小
3.資金繰りの好転	3.資金繰りの悪化
4.売上単価の上昇	4.売上単価の低下
5.原材料・仕入単価の低下	5.原材料・仕入単価の上昇
6.経費削減の進展	6.経費負担の増加
7.為替の好影響	7.為替の悪影響
8.新分野への進展	8.その他（ ）
9.新製品の開発・取扱い	
10.その他（ ）	

上記で選択した項目について具体的な内容をご記入ください。

問3. 令和7年7～9月期の業況の水準は、現状としていかがでしたか。（過去との比較でなく）
該当する番号1つに○印を付けてください。

	令和7年7～9月期の水準(過去との比較でなく現状として)		
a. 業況(自社)	1.良い	2.普通	3.悪い
b. 採算(経常利益)	1.黒字	2.収支均衡	3.赤字
c. 従業員(含臨時・パート)	1.余剰	2.適正	3.不足
d. 設備	1.余剰	2.適正	3.不足

問4. 令和7年度上半期（令和7年4～9月）および令和7年度下半期（令和7年10月～令和8年3月）の新規設備投資は、どのような状況ですか。また、新規設備投資がある場合、どのような投資内容ですか。
該当する番号すべてに○印を付けてください。

令和7年度上半期(令和7年4～9月)

①設備投資を、	
1. 実施した (↓「問②」へ)	2. しなかった (「問③」へ→)
②実施内容	
1. 土地	2. 建物
3. 生産設備	4. 車両・運搬具
5. 付帯施設	6. OA機器
7. 福利厚生施設	
8. その他(具体的に:)	

令和7年度下半期(令和7年10月～令和8年3月)

③設備投資を、	
1. 計画している (↓「問④」へ)	2. していない (「問⑤」へ→)
④. 計画内容	
1. 土地	2. 建物
3. 生産設備	4. 車両・運搬具
5. 付帯施設	6. OA機器
7. 福利厚生施設	
8. その他(具体的に:)	

⑤. 設備投資を計画していない理由
1. 十分である
2. 令和8年度上半期で計画している
3. 事業の先行きに不安がある
4. 資金調達が難しいから
5. 事業を継続する予定がないから
6. その他 (具体的に:)

問5. 問4①で「実施した」、問4③で「計画している」、問4⑤で「次々期で計画している」を選択された方に伺います。
設備投資を行う目的は、どのようなものですか。該当する番号すべてに○印を付けてください。

設備投資の目的	
1. 補修・更新	2. 省力化・合理化
3. 生産性向上	4. 新規事業への進出
5. 省エネ・公害防止	6. 福利厚生
7. 研究開発	
8. その他(具体的に:)	

問6. 令和7年7～9月期において直面している経営上の問題点は、どのようなものですか。
該当する番号に3つ以内で○印を付けてください。

経営上の問題点	
1. 大企業の進出による競争の激化	2. 新規参入業者の増加
3. 利用者ニーズの変化への対応	4. 店舗施設の狭隘・老朽化
5. 人件費の増加	6. 人件費以外の経費の増加
7. 利用料金の低下・上昇難	8. 材料等仕入単価の上昇
9. 金利負担の増加	10. 事業資金の借入難
11. 従業員の確保難	12. 熟練従業員の確保難
13. 需要の停滞	14. その他 (具体的に:)

○長岡市の商工行政に対して、ご意見またはご要望がございましたらご記入願います。
(業況(自社)の背景や経営上の問題点、必要な支援など)

●金利上昇に関する調査

【金利上昇】

問1. 貴社の事業において、金利上昇による影響は受けていますか。

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1. かなり厳しい影響がある | 2. 多少の影響がある（業績を左右するほどではない） |
| 3. 影響はない | 4. プラスの影響がある |

問2. 貴社において、今後取り組む金利上昇の対策を教えてください。【複数回答可】

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. 販売価格への転嫁 | 2. 情報収集の強化 |
| 3. 人件費の削減 | 4. 人件費以外のコスト削減 |
| 5. 生産や在庫等の削減 | 6. 資金調達 |
| 7. 代替品への切りかえ | 8. 調達先の変更 |
| 9. 特にない | 10. その他（ ） |

●従業員の働き方に関する調査

【働き方】

問3. 貴事業所の従業員数 この調査票が届いた所在地の事業所のみの状況をご記入ください。

	男性	女性	合計
全従業員数	人	人	人
（全従業員のうち、管理職※1）	人	人	人
（全従業員のうち、技術職、開発職※2）	人	人	人

※1 管理職は、課長級以上の管理・監督的業務の従事者についてご記入ください。

※2 技術職、開発職は、専門知識を必要とする業務の従事者についてご記入ください。

問4. 貴事業所には、育児休業に関する規定はありますか。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問5. 貴事業所の正規従業員のうち、令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）に出産した従業員等について、下表の区分により人数をご記入ください。

※該当者がいなかった場合は0人としてください。

女性従業員について		男性従業員について	
出産した従業員	人	配偶者が出産した男性従業員	人
・育児休業取得（※）	人	・育児休業取得（※）	人
・出産のために退職	人	・出産のために退職	人
・育児休業を終了して復職	人	・育児休業を終了して復職	人

（※）産後パパ育休、パパママ育休プラスを除く。

●e スポーツの活用に関する調査

※eスポーツとは、「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピューターゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称です。

問6. eスポーツをビジネスや社内活動に活用することに関心がありますか。

1. 非常に関心がある 2. ある程度関心がある
3. あまり関心がない 4. 全く関心がない

※「1. 非常に興味がある」「2. ある程度興味がある」と回答された方には、後日、担当課（長岡市地域振興戦略部）より連絡をさせていただくことがあります。

問7. 問6で、「1. 非常に関心がある」「2. ある程度関心がある」と回答した方に伺います。

e スポーツを活用できると考える分野はどこですか？【複数回答可】

- | | |
|------------|---------------------|
| 1. 広告・広報 | 2. マーケティング |
| 3. 人材育成・研修 | 4. 社内イベント・チームビルディング |
| 5. 他社との交流 | 6. 地域貢献 |
| 7. その他（ ） | |

問8. 問6で、「1. 非常に関心がある」「2. ある程度関心がある」と回答した方に伺います。

現在、eスポーツをビジネスや社内活動に取り入れていますか。

1. 導入している 2. 導入予定
3. 将来的に検討したい 4. 導入予定はない

※「1. 導入している」「2. 導入予定」と回答された方には、後日、担当課（長岡市地域振興戦略部）より連絡をさせていただくことがあります。

問9. 問8で、「1. 導入している」「2. 導入予定」「3. 将来的に検討したい」と回答した方に伺います。

e スポーツのビジネスや社内活動での利用を検討する際に、課題となる点は何ですか。【複数回答可】

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 費用負担 | 2. 効果の測定が難しい |
| 3. 専門知識や人材の不足 | 4. 社内理解の不足 |
| 5. 他の施策との優先順位 | 6. その他（ ） |